

基本的な技能を基盤とした音楽づくりから、
音が重なるよさを見いだす音楽科授業づくり

1 はじめに

2 授業の構想

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

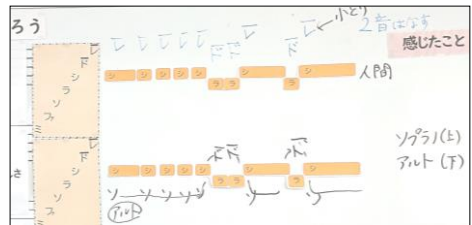
(6)



3 授業（本時）の実際

(1)

(2)



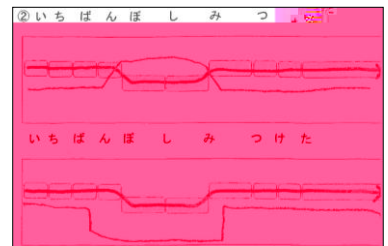
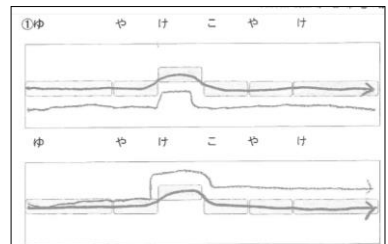
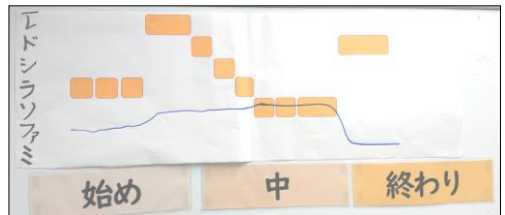
T
C
T
C
T
C
C
T
C

R

T
C
C
T
C
T
C
C

T
C
T
C
T
C
T

T
C
T



4 子どもが見つけたよさ

(1)



(2)



(3)

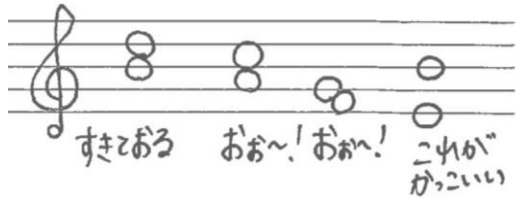


(4)



(5)





5 ヒロガルシートによる振り返り

ヒロガル

()部()年()番 2月14日

名前 ()

教科・行事名 (音楽)

「またあそぼ」
せんりつが重なるよさを感じよう

ふりかえり

<他者>に出会う 元のせんりつに重なる パートをはじめて つくって...	元のせんりつと合っていた パートが重なりすぎて楽しかった
<他者>をよく知る どのようにためえ 決めたか	少ししかかきながらできた音は したかくでさげいだと思っ決めて
<他者>と自分を くらべる 友だちのえんそうを きいて感じたよさ	一音のペアとわがうところか いことも工夫の一つだと思っ
自分が新しくなる 重なりをよくきいて 見つけたよさは... （重なりはいいよさ）	したいきなりたかくなってもちあ たところがさげいだなと思っいま ちがう喜をみあわせるだけで の音になっていることがわかって嬉しかったです

6 終わりに